

## 株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝  
 (コード番号: 3612 東証プライム市場)  
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一  
 (電話番号: IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2023年3月期 (2022/4/1~2023/3/31)		上期							下期					通期			
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term		
売上前年比		伸び率 (%)															
国内小売売上		※1・5	127.7	149.8	112.2	116.9	130.2	136.0	127.5	131.8	117.6	128.7	141.7	※6 152.4	105.2	126.8	127.1
店舗売上		※2・5	124.1	156.2	108.3	111.9	128.0	133.6	125.1	126.8	112.5	124.3	134.4	※6 149.6	105.3	122.6	123.7
既存店売上		※3	119.5	150.7	109.3	109.4	120.0	118.0	119.8	111.9	100.8	107.7	120.5	※6 134.3	112.4	112.6	115.6
Eコマース売上		※4・5	144.7	127.7	130.1	140.1	138.8	145.3	137.4	158.0	141.2	149.5	168.7	※6 161.4	104.5	144.7	141.4
店舗数		店															
月末(期末)小売店舗数		※2・5	2,364	2,358	2,353	2,341	2,316	2,313	—	2,301	2,304	2,304	2,248	2,205	2,199	—	—
出店			14	1	0	2	3	10	30	4	5	1	0	0	21	31	61
退店			11	7	5	14	28	13	78	16	2	1	56	43	27	145	223
M&A			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
既存店対象店舗数		※3	1,569	1,577	1,577	1,568	1,539	1,533	—	1,541	1,550	1,553	1,497	1,460	2,092	—	—

(注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみ限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております(ただし、緊急事態宣言に伴う臨時休業店や営業時短店は既存店の対象としております)。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2022年3月より連結子会社となった㈱ナルミヤ・インターナショナル(以下「ナルミヤ」と言います)の単体売上(店舗やECの小売売上)や店舗数(680店舗(2022年3月時点))を含んでおり、連結加入より丸一年が経過した2023年3月からは既存店にも含んでおります。

※6 2023年2月の国内小売売上前年比が152.6%から152.4%へ、店舗売上前年比が149.7%から149.6%へ、既存店売上前年比が134.4%から134.3%へ、Eコマース売上前年比が161.7%から161.4%に修正されました。下線部をご確認ください。

## (当月の概況)

休日数(前年差)

当月

±0

前年同月

△1

当月は、国内小売売上が前年同月比105.2%となり、内訳は店舗売上が同105.3%、Eコマース売上が同104.5%となりました。既存店売上は前年同月比112.4%、コロナ禍前の2019年3月比較で89.0%でした。休日数の前年差はございません。  
 2023年3月でナルミヤが連結加入して丸一年を経過したことから、当月より既存店にカウントいたします。なお、ナルミヤ連結効果の一巡で国内小売売上の伸張率が鈍化し、当月はナルミヤが連結売上の昨対伸び率を低下させる方向へ働きました。  
 店舗販路においては、構造改革の仕上げとして第4四半期に不採算店舗の追加退店が多くなり、全店売上の伸び幅をやや抑制させる影響を及ぼしましたが、店頭への人流回帰が継続するなかで春物商戦の本番を迎えて売上が好調に推移しました。  
 また、EC販路も店舗同様実需期に入って堅調ながら、お客様の購買行動は店頭シフトが鮮明でした。結果、ナルミヤ抜きでは既存店売上が昨対114.4%、Eコマース売上が同107.0%となり、ナルミヤ影響(▲2pp程度)を十二分に補えました。  
 アイテム別では、気温の大幅な上昇を背景に軽衣料が活発に動きました。春物ニットではレイヤード(重ね着)のセット販売シリーズの当たりが良く、中でもトレンドのニットベストにロングTシャツを合わせたセット商品が好調でした。  
 ブランド別では、レディースアパレルを中心として全般的に好調でしたが、タケオキクチやザ・ショップ・TK、ドレステリアなどのメンズ商材が特に力強く回復しており、旺盛なインバウンド需要が加勢する「ラグタグ」も引き続き全体の成長を牽引しました。

お知らせ: 2023年3月期決算発表(Tdnet及びホームページでの開示)は、5月8日(月)の予定です。

## (参考: 前期実績)

2022年3月期 (2021/4/1~2022/3/31)		上期							下期					通期			
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term		
売上前年比		伸び率 (%)															
国内小売売上			261.8	143.9	77.6	87.8	72.4	76.5	98.1	85.0	94.1	92.8	95.0	75.3	109.8	92.9	95.2
店舗売上			399.1	169.8	75.9	88.8	70.7	72.7	100.5	84.3	91.7	92.3	93.8	73.8	106.9	91.5	95.3
既存店売上			433.7	182.9	80.0	94.4	76.2	84.1	107.5	99.0	107.3	110.2	111.7	84.9	101.8	103.3	105.2
Eコマース売上			99.4	94.6	86.1	83.7	79.8	96.1	89.5	89.2	106.6	94.8	99.6	80.3	124.1	99.4	94.6
店舗数		店															
月末(期末)小売店舗数			2,169	2,160	2,146	2,067	1,831	1,820	—	1,819	1,810	1,809	1,749	1,716	2,361	—	—
出店			19	2	2	1	4	9	37	8	1	0	1	1	9	20	57
退店			5	11	16	80	240	20	372	9	10	1	61	34	44	159	531
M&A			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	680	680	680	
既存店対象店舗数			1,930	1,930	1,925	1,852	1,610	1,592	—	1,606	1,602	1,615	1,555	1,521	1,527	—	—